

会 議 録

- 1 附属機関の会議の名称 水戸市産業振興計画審議会
- 2 開催日時 平成27年1月22日（木） 午後1時30分から午後3時40分まで
- 3 開催場所 本庁舎前議会臨時庁舎 2階 第1委員会室
- 4 出席した者の氏名
 - (1)水戸市産業振興計画審議会委員
後藤玲子，宮内久江，飛田栄，飯島清光，菌部さとみ，吉久保富美，荒川友勝
 - (2)執行機関
飯村健一，鈴木吉昭，吉川茂重，白石嘉亮，大峰正美，笠原昭彦，江幡将行，寺門和南
- 5 議題及び公開・非公開の別
 - (1)水戸市産業振興ビジョンについて（公開）
 - (2)その他（公開）
- 6 非公開の理由 適用なし
- 7 傍聴人の数（公開した場合に限る。） 0人
- 8 会議資料の名称
 - 資料1 水戸市産業振興ビジョン素案
 - 資料2 水戸市産業振興ビジョン素案の概要

9 発言の内容

事務局

本日は、お忙しい中お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。定刻になりましたので、ただ今から、第2回水戸市産業振興計画審議会を始めさせていただきたいと思っております。

初めに、_____会長の方から御挨拶をお願いいたします。

議長

_____の_____と申します。

本日は雨でありますし、年度末で大変お忙しい中お越しくささいましてありがとうございます。前日に引き続き議長を務めさせていただきます。よろしくをお願いいたします。

前回の第1回の審議会では水戸市の産業の現状と課題について様々な面から御協議いただきまして誠にありがとうございました。前回の審議会は大分前になりますので、皆さんが覚えていらっしゃるかどうか不安なところもございますが、7月に開催させていただきまして、本来であれば12月に市職員の政策会議を経て市民の方の声を聴くというパブリックコメントを行う前に審議会を開催して、ビジョンの素案に関する意見を皆様から頂戴する予定でしたが、調整に時間がかかったことと年末の忙しい時期になってしまい、なかなか日程がとれず今日の開催となってしまったことをまずお詫び申し上げたいと思っております。本当に申し訳ございませんでした。

次回についてはこの会議の最後に事務局からお話があると思っておりますが、次回の開催は3月になります。また、年度末でお忙しい時期になってしまいますが、今度は今回のようなことがないように早めに日程調整等々をさせていただきたいと思っておりますので、御了承いただければと思っております。

本日は事務局から計画全体の素案が示されております。その間、国におきましては「まち・ひと・しごと創生本部」が設置されまして、地方創生という課題に対して省庁横断で取り組むこととされました。また、昨年におきましては消滅自治体ということが話題になったところであり、水戸市については幸いそのリストに入っておりませんでしたけれども、人口が減少する中で地方創生という課題を強く意識しながら産業振興に当たらなければならないという状況でございます。その中で国の流れ、水戸市の置かれている現状を踏まえながら、水戸市の特色ある地域資源を十分に活用して地域経済の活性化をする、そのための指針として作り上げてまいりたいと思っておりますので、委員の皆さんにおかれましては、本日は専門分野だけでなく幅広い視野に立った審議をお願いしたいと思います。よろしく申し上げます。

事務局

ありがとうございました。それでは、進行に移りたいと思っておりますが、本日は産業振興ビジョンを作成するに当たりまして、商工課以外に関係課の職員の出席をお願いしております。

(事務局関係課職員紹介)

改めまして、会議に先立ち本日の出席者数を御報告させていただきます。審査委員10名のうち7名が出席しております。委員の2分の1以上の出席がございましたので、本審議会は

成立しておりますことを御報告申し上げます。

また、本日の審議会は「水戸市附属機関の会議の公開に関する規程」により公開となっております。公開の方法といたしましては、会議の日時・会議録等を市のホームページなどにおきましてお知らせをしております。

会議録の作成のため、会議録署名人をお二方、審議会の中で指名させていただきますのでよろしくお願いいたします。

それでは議事に移りたいと思います。議事の進行につきましては、水戸市産業振興計画審議会条例第6条第1項の規定によりまして、会長に議長をお願いしたいと思います。会長よろしくお願いいたします。

議長

それでは規定ですので、議長を務めさせていただきます。

審議に入ります前に、先ほど事務局より説明がございました附属機関の公開制度に基づきまして、会議録署名人2名を指名させていただきます。

_____委員， _____委員， 以上2名の方を指名いたしますので、どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、審議に入ります。次第の「2 議事」の「水戸市産業振興ビジョン素案について」でございますが、内容について事務局から説明をお願いいたします。

(事務局説明)

議長

ありがとうございました。ただ今事務局から説明がありましたビジョンの素案について本日御質問や御意見を頂きたいと思っているわけですが、改めまして2ページを御覧ください。この産業振興ビジョン自体は水戸市第6次総合計画に基づいて作ることになり、平行して観光、農業、中心市街地についてはほかのものが動いているというような中で、産業の総合的な振興を図るためのビジョンを担うという位置付けを一度御確認いただくということと、今一度スケジュールを御確認いただきますと、本日の審議会が終わりましたら次回の審議会は3月になりまして、この3月の審議会におきまして、今日頂いた御質問や御意見に基づいて修正されたものを審議していただく場になるわけです。つまり、この産業振興ビジョンについて活発な御意見を頂いて修正ができるのは本日がラストチャンスということになりますので、是非様々な御質問や御意見を頂ければと思います。

では、どなたからでも構いませんので御質問、御意見のある委員の方々は挙手をお願いいたします。

どなたも御質問、御意見ございませんでしょうか。

では、まず口火を切らせていただきます。私の方からいくつか質問と意見がございます。

資料の作り直しに関わるのは26ページです。26ページに目標指標というのが掲載されております。これはどのような根拠に基づいて目標数値が出たのかが全く分からないので、是非とも事務局から御説明願いたいと思っております。これについては、例えば経済活動別市内総生産については4ページに市内総生産の目標値という図があり、2023年度の水戸市と

しての目標値と一致するものになっているのですが、そもそもこの目標値はどのような根拠で出てきたのでしょうか。これは目標でありまして、トレンドとは違うはずですよ。トレンドから出たものではない目標値をこのように定める理由と市内総生産の目標値の6パーセントというのが意欲的な目標なのかということ判断する材料が何もありませんので、そのようなものをお示しいただきたいと思います。

次の市内小売業における年間商品販売額になりますと、20ページに市内卸・小売業の年間商品販売額というものがありますが、市内小売業における年間商品販売額のトレンドを理解できるデータがありませんので、やはり目標値がどうやって出てきたのか疑問になるわけです。あとは例えば新規企業等の立地数ということになりますと、2012年には立地が1個もなかったということであれば0と書いていただきたいと思います。この目標値というのは、この施策によってこういう目標という意味合いよりはビジョンですので、水戸を産業振興してこういう目標を掲げたい、この目標を達成するためにあとの施策があるという位置付けですので、そのような意味合いで目標値が設定されていると思いますが、その根拠を教えてください。

事業所の従業員数に至りましては、何の従業員数であるのか、どこを参照してよいのかも分からないようなものでしたので、その辺りを教えていただきたいと思いますというのが第1番目の質問でございます。ほかにもございますが、一つ一つお答えいただいた方がよろしいかと思っておりますので、まずは今の点につきまして事務局から御説明いただければと思います。

事務局

ただ今の目標指標に関する御質問ですが、基本的には水戸市の上位計画でございます第6次総合計画の目標としているところの数字と合致しているところでございます。申し訳ございません。この場で一つ一つの目標の根拠を御説明できる状態ではございませんので、次回の時までにはその目標設定の考え方について標記できますよう検討していきたいと思っております。よろしく願いいたします。

議長

分かりました。ビジョンに目標設定の根拠の考え方を乗せるということも大事でありますし、可能であれば私どもにはこの目標値を納得できるような材料を別に御用意いただければ有り難いと思うところであります。それが第1点目であります。

第2点目は漠然とした質問となってしまうのですが、この産業振興のビジョンを作ることによって、どんなプラスがあるのかということが漠然に疑問に感じました。というのも、非常に厳しい言い方になって大変申し訳ないのですが、他のビジョンの策定もある中でありますし、他の自治体を見ましてもこういう現状分析に基づいた課題、方針というのは一般的なやり方だと思いますが、私の場合研究者でありますので、その目から見ますと施策在りきのビジョンに見えてしまいます。課題は現状分析から出てきた課題とは言い難く、例えばなぜ世界で勝てる企業を育成するという目標や課題が出てこないのかというのを説明できないと思います。もともと仮説があったのだらうと思いますが、その仮説を検証するための現状分析に残念ながらありません。もし、仮説を検証した現状分析になっているのであれば、過去の施策の反省や事業者や産業間連携についてのニーズを聞き、そのニーズ分析などがあるものだと思いますので、そういうものが欠けてしまっているのが残念だと思うところであります。ただ、意義があるとすれば、水戸市として初めて総合的に産業振興するとい

う視点に立って、これまで行ってきた施策、新しい総合計画の下でこれから力を入れようとしている施策が体系化されているところに、非常に意味があるのだと思います。特に、事務局の方々には、私が申し上げた現状分析というよりは他の部局との調整をして、施策を総合的に産業振興するという目的において体系化するところにエネルギーを注いで、調整作業等々されてきたのではないかと思います。そういう作業をした中で、結果としてこれがあることでどんなプラスが生まれるかということが分からなくなっていましたので、事務局としての考えがあればそれについてお答えいただければと思います。よろしく願いいたします。

事務局

今回の計画につきましては、各それぞれの産業別にこれまで作ってきたものを総合的なくくりで捉えた初めての計画といたしまして、それに意味があると思っております。その中で今回いくつかの産業を組み合わせることで生まれてくるもの、特徴となるものというのは産業間の連携だろうと思っております。これまでも農業におきましては6次産業化の取組を行ってきたところがございますけれども、このように商業、工業、農業、観光と産業を横に並べたときにどのような組合せがあって、どのようなことができるのかというところを、国の動向や先進事例を参考にしながら策定を進めてきたという経緯がございます。事業者側から見た場合には、現在直面している課題と認識していない項目もあるかと思っておりますけれども、一つの産業の中に止まっているのではなくて、もうちょっと広い視野で見たときに考えられる事業の展開、方向性、可能性を探るといって、これが一つのヒントになればこの計画が有効になるのかと考えております。

議長

ありがとうございます。良いアイデアがあるわけではないので申し訳ないのですが、例えば産業間の連携ということを経営者の方々にも意識してほしい、水戸市としてもそれを重要だとして施策を展開するということが、今の書き方だと施策のメリハリというか優先順位が見えにくい状態になっていると思います。これは意見なのですが、何か良いアイデアが出ればこちらから御連絡いたしますが、何らかの形でメリハリのようなものやウェイト付けのようなものが見えるとより良いかと思います。

私からたくさん質問をさせていただいたり、意見を述べさせていただくのではもったいないので、他の委員の方々も忌憚ない御意見なり御質問を頂ければと思います。

委員

13 ページの図 11 市内年齢別農業就業人口に縦は 0 から 10,000 までは単位が人と書いてあり、横軸は 1995 年から始まり 2010 年まで年代別に書いてあると思います。この表現は市内の年齢別なのか年代別なのかというところで、年代別の方が妥当かと思いました。

また 14 ページの一番右の表の数字を見ますと 2012 年の 1500 万円から 2000 万円の販売金額がある経営体数が 17 とあります。この数字を経営体数の合計 3,262 で割り 100 倍すると全体の 0.5 パーセントくらいしかいないことになり、農業をやる魅力が本当にあるのかなということを感じました。

次に 16 ページですが、図 13 市内の工業従業者数の 2009 年の数字は 19,200 人であるのに対して、同じく 2009 年の図 14 製造品出荷額は 12,000 百万を超えたところにあります。これを従業者数で割ると、大体一人当たりの付加価値が 62,500 円という金額が出てくるの

ですが、この金額は月別なのでしょうか。月別であれば低いとは思いますが妥当であると思います。しかし、単位が年で表記されており、この数値は正しいのか疑問に思いました。

事務局

ただ今御質問を頂きました製造品出荷額につきましては、後日調べまして改めて御回答させていただきますと思います。

委員

図 11 のタイトルの表記について年齢別で正しいのでしょうか。年代別という表現ではないのかと疑問に思いました。

議長

年代別農業就業人口の推移という意味ですが、年齢別とってしまうこともありますね。

事務局

資料の出典が国の調査なものですから、もう一度確認させていただきたいと思います。

14 ページについては、1500 万円の販売農家が少なくなっているため、それをどれだけ増やしていけるかというところは、農業分野が一番の問題としている部分であります。

議長

経営体数の全体数が減っているのに、割合で見ますと増えているということなんですね。

委員

水戸市の魁プランを見させていただきました。この中で「活力あふれる産業の振興」というところで、ビジョンの 26 ページにある目標値について詳しく書かれてあります。その目標値に対してどのように施策をするのかということに関してですが、茨城県内には工業技術センターや日立の産業支援センター等様々な機関があります。そこでは、新しい事業者の育成などいろいろなプランを実行しています。そういったことに対して情報収集をし、県の中小企業振興公社などの他関係機関の施策を参考にして、もう少し具体性のある内容が書いてあると良いかと思いました。単なる希望的な観測やどこでもやっているような目新しいことは書いてないように感じます。当たり前のことであれば他にやっているところもあるので、その事例を参考にして目標を達成するというような謙虚な表現があってもいいように感じました。

事務局

茨城県内におきましても、工業におきましては先進的な事例が日立市やひたちなか市、つくば市など参考になる事例が多い状況にあります。そういった中で水戸市の産業、特に 2 次産業については多少遅れをとっていると感じる部分もあります。そういったところでは他市町村の取組や県内にありますひたちなかテクノセンターや中小企業振興公社等の関係機関と連携をしながら進めていきたいと思っております。今回の計画の中でも申し上げてはおりますが、水戸市は第 3 次産業に特化した都市というところもございますので、その特徴を生かしながら水戸市らしい形での新しい産業創出を目指していきたいと考えております。

委員

11 ページの表3 市内の歴史的・文化的資産についてですが、これだけの文化的資源があるのにこれをフォローアップした観光マップ、また遊びで来た人向けや修学旅行者向け、学生向けといった観光マップを作ってもいいと思います。しかし、市民センターや公民館に行った時に有機的につながるような観光マップができていないように感じたので、文化的資源を有効活用するような観光マップがあるのか疑問を感じました。

事務局

観光マップにつきましては文化的資産をつないだ観光マップがございます。また事業目的ごとのマップもございますので、そちらの活用を進めているところであります。そちらは市内の観光事業者さんと連携してパンフレットの配布に努めております。まだ市民の方への周知が弱いというところはあるかもしれませんが、より一層観光事業者さんと連携してPRをしてまいりたいと思います。

議長

先ほどの質問に関連しまして私からお尋ねしたいことがあります。例えば他市との比較に基づく施策の改善ですとか関連機関との連携でありますとか、こういったものを新たな施策として展開するというようなことをここで議論し得るのでしょうか。仮に議論し得るのであれば、今回のビジョンに関して少し欠けている部分であると思いますので、まずはきちんとした現状分析、きちんとした比較に基づく施策の改善をどこかに事業として盛り込んでいただくと良いと思います。そもそも、そういうことが難しいということであれば、この産業振興ビジョンにつきましては48ページにありますようにこれから計画を実行し評価し改善するというPDCAサイクルをまわすということですので、その時に既存の施策の成果について単純に評価をするというだけでなく、他市でやっていることを参考にしながら改善をするという方針をとることも可能だと思うのですがいかがでしょうか。

事務局

今回の施策には他市の先進的な施策を参考にしながら取り込んだものもございます。それを水戸市の事業と照らして改善ということにつきましては、今後PDCAサイクルの評価の中で他市と比較をしながら水戸市の事業への反映を考えていきたいと思います。

議長

可能であれば、48ページにそういった文言を何らかの形で入れていただくと良いと思います。各施策の実施状況を単に検証するのではなく、その目標自体を取り直すという意味でも他市との比較等々について加えていただきたいと思います。

委員

このビジョンが出来上がってから細かいことが決まっていくのだと思いますが、読ませていただいた時に具体例があると良いと感じました。例えば、農業関係であればグリーンツーリズムといって滞在型の農業体験をしながら観光もできるというようなものがあり、それが書かれていれば連携のような形で事業が進められるのかなと頭に浮かびますので、先進地

域の事例のような具体例が載っていると、ビジョンを見たときにイメージが浮かびやすいと思いました。

議長

ビジョンの中に非常に具体的なものを盛り込むのは難しいとは思いますが、一方で、産業界連携を促進するという時に、一体どんなビジネスの在り方があるのかということをも具体的にイメージできるようになるとより良いという御意見でしたが、いかがでしょうか。

事務局

おっしゃるとおりイメージしづらい部分があるかと思います。ビジョンという性格上、具体的な項目というよりは、幅広く捉えられるような形での表現をさせていただきました。これから各分野別の計画の中で、更に具体的な形として表現されていくことになりまして、進行管理をしていく上で、実際にこれのためにどんなことをやったのかというところでの評価をする場合には、具体的な事業が見えてくると思います。その中でよりイメージがはっきりしてくるのかなと考えております。

委員

観光基本計画(第3次)の中にはソフト事業とハード事業ということで具体例がありますが、観光以外でフォローアップしているような基本計画の素案というのはできているのでしょうか。

事務局

産業振興ビジョンに関連しまして、観光課では観光基本計画、農業は農業基本計画を作っており、観光ですと体験型ツアーということで関連機関と連携しながら具体的な事業を提示しております。それと同じように、農業につきましても個別計画の中で詳細は載せております。

委員

コンベンションやMICEも含めた基本計画というものができているのでしょうか。

事務局

具体的な内容につきましては分量がありますので、個別の細かいことまでは書いておりませんが、方向性とどのようなことをするのかということについては書いてあります。また、それに向けて来年度の予算要求もしております。

議長

これを読んだ時、これでどうなるのかというのが見えにくくなっているのが一つの課題であるとは思いますが、ただ、どうすれば良いのかというアイデアが思い浮かばないので申し訳ないところではあります。考えなければならぬ課題であると受け止めさせていただきたいと思っております。

委員

30 ページに中心市街地の活性化の推進について、現在の水戸市の一番の問題はここだと思います。人通りも少なくシャッター商店街になりつつあるという現状があります。最近、大工町で屋台村のような取組が始まりましたが、若い人たちが自由にお店を開いて仕事ができるというような空き店舗を利用した方法ですとか、若い人の発想の中で中心市街地の活性化の取組をもっとやっていくべきだと思います。

事務局

まさしく中心市街地の活性化につきましては本市の重要な課題であると認識しております。2 ページのところにもありますように、「中心市街地活性化ビジョン」を相互に連携する計画として載せております。産業振興ビジョンに関しましては、半ページしか中心市街地活性化の推進について書いていない形になっておりますが、具体的なことにつきましては、現在策定中の「中心市街地活性化ビジョン」の中で取組をしている状況でございます。水戸市の第6次総合計画の中でもコンパクトシティを目指すことになっており、その中で中心市街地の役割というもの非常に重要であるという認識を持っております。それにつきましては、中心市街地のビジョンの中で細かいところを整理して、有効な施策へと取り組んでいきたいと思っております。

委員

この資料は漠然としていてよく分かりません。連携をするとしても、各事業者間であるのか異業種間であるのかなど具体的なやり方が出ていないので、例があればそれについて意見を言うこともできますが、これを見ただけでは何とも言えないというのが正直なところです。

議長

産業間の連携を重視するということを明確に打ち出すものであれば、やはり施策の展開というところで、それが前面に出てきて、こういう産業間の連携でやってきたがここが足りなかったのだからこうするということになるものになっていると、本当に良いと思いますが、現状では、総合計画の産業版を焼き直したようなものに若干なってしまうということがあるのかと思います。もう少し産業間の連携というのが前面に出るような形での書き直しは可能でしょうか。

事務局

総合計画の産業版という形になっているのは、そういった意味合いも含めているという意味ではそういったものにはなっているのですが、その中で産業間の連携については、我々の中でも何ができるのかというところが、今の段階で具体的に明確な形に至っていないことから、ただ連携する中で新しいものが生まれるのではないかという期待も含めた形の計画となっております。そういった意味では、確かに意見が述べづらいというのも重々分かります。このことについては、申し訳ありませんが持ち帰り検討させていただきたいと考えております。

議長

時間が非常に厳しい中での作業であったと思えますし、他の計画もございますので、こ

れから年度末までに計画を作らなければならないので非常に時間がタイトな中だと思えますが、ここにいる委員の方々がおそらく市民の中でも最も計画をきちんと読んだ方々だと思いますので、その委員の皆様がつかみどころがないということになりますと、一般市民の方々は本当に何だか分からないということになりかねませんので、是非改善を図っていただければと思います。

委員

スケジュール表を見ると、具体的な話として6月や10月に計画素案の作成と書いてありますが、これは具体的にどんなことを計画されているのでしょうか。

事務局

この策定スケジュールにつきましては、今回お示ししました産業振興ビジョン素案を作る過程においての流れをくんだスケジュールでございます。この素案を作るのに当たって様々な方針や作業の流れを説明した資料となっております。

議長

計画素案というのは正に今日御議論いただいている素案のこととございまして、今年度につきましては3月までこの素案を実際の案にしてビジョンを策定に至るとというのがスケジュールとなっております。来年からにつきましては、産業振興計画審議会がどのくらいのペースで開催されるのかということについては事務局から御説明いただければと思いますが、今後も48ページにありますように、PDCAサイクルで施策の実施状況の検証を行うということになっておりますので、その検証を行う際にどのような方法で行うのかというのはこれからの議論に委ねられると思いますが、検証を行うためには各施策の見取り図のようなものや、費用対効果等の効果があったのかどうか分かる資料に基づきまして、検証をしていただくことになるのではないかと考えております。そして、その中で可能であれば各施策は他市の先進事例等々を参考にしているわけでありますので、そういったものも盛り込んだ形で点検作業をやっていただくと良いのではないかと考えております。

事務局

計画の策定後は、進行管理につきましては当審議会においてお願いしたいと思っております。開催は年1回程度になるかと思いますが、進行管理等を行い、改善をしていきたいと考えております。

委員

41ページの観光に着目した産業の育成について、現在観光周遊というのは経済の活性化にも大変期待されているところだと思います。特に茨城空港が近くにありますが、中国から来た観光客が水戸に来る方向に持っていけるように、施策の展開の中に外国客に向けた施策を入れてはどうかと思いました。

事務局

外国人の方を水戸にお呼びする施策の展開は、基本的に観光基本計画に位置付けており

ます。どのようにビジョンで表現するかということにつきましては、協議しまして次回提示させていただきたいと思っております。

議長

特にこれ以上御意見御質問がないようであれば、産業振興ビジョンの素案に関する議論はここまでさせていただきます。

続きまして、「3 その他」ということで事務局から何かございますか。

事務局

御審議ありがとうございました。ただ今頂いた意見、そしてパブリックコメントの意見を踏まえて案の修正を加えさせていただき、改めて次回の審議会に御提出させていただければと考えております。細かいことにつきましては、会長と個別に御相談させていただくこともあるかと思いますがよろしくお願いたします。

スケジュールですが、3月上旬に予定しています第3回の当審議会を経て、市の決定機関である庁議で最終的な決定をしまいたいと考えております。第3回の当審議会につきましては、日程調整の上、後日委員の皆様には御通知させていただきたいと思っておりますのでよろしくお願いたします。

事務局からは以上でございます。

議長

ありがとうございました。

それでは、以上をもちまして第2回水戸市産業振興計画審議会を閉会いたします。委員の皆様どうもありがとうございました。